

東富士工場の今後について

記

トヨタ自動車東日本株式会社(本社:宮城県黒川郡大衡村中央平1番地 取締役社長 白根武史)は、東富士工場の車両生産を東北へ集約する検討を始めました。2020年度内を目途に東富士工場の従業員約1,100名は、東北地区へ異動する予定です。これまで培われてきた東富士工場の従業員が持つ高い技能や知恵と工夫を、東北の工場へ集約することにより、更なる競争力強化を進めていきます。

<白根武史社長コメント>

東富士工場の今後について、現在の検討状況をお伝えさせていただきます。

これまで東富士工場は、地域の皆様に支えられ、50年に渡り生産を継続してまいりました。これも日頃より当社に対し多大なご理解とご協力をいただいている地域や自治体の皆様、取引先様のおかげであると考えております。

東富士工場は、高い技術や知恵と工夫に基づいた生産性向上による競争力強化へ向け取り組みを進めてまいりました。こうした取り組みが当社のDNAとなり東北の工場に水平展開され、今や当社の担当する年間計画の総生産台数を東北の完成車両2工場にて生産できるレベルにまで生産性向上が進んできました。

一方で、現在、自動車産業を取り巻く環境は、これまでにないスピードと大きさで変化しており、「100年に一度」と言われる大変革の時代に直面しております。特に当社の担当するコンパクト車はグローバルで最も競争の激しいカテゴリーです。こうした時代を生き抜くために、さらに競争力を上げるべく東富士工場の生産を東北へ集約するという方針と共に、2020年度内を目処に、東富士工場従業員約1,100名の東北地区への異動について検討に入りました。この件につきましては正式な決定後、内容が整い次第、皆様に改めてお伝えさせていただきます。

これからも、地域や自治体の皆様、取引先様、当社従業員それぞれの立場と気持ちに真正面から向き合い、共に進んでいきたいと思っております。

最後に、東富士地区での活動は東富士総合センターを通じ今後も継続し、地域の皆様と一緒に成長・発展を目指してまいります。さらに、トヨタグループとして、今後も新しいモビリティ社会に向けた町づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

今後も皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。